

子育て支援メッセいしかわ2025に参加して

赤十字安全法奉仕団 池田 幸應

「子育て支援メッセいしかわ2025」での日赤ブース“赤十字おしごと体験スタンプラリー”の運営に安全法奉仕団メンバーとして参加させていただきました。当日、親子を中心に約500の方々に、幼児の人形とAEDを使った一次救命処置や手術シミュレーション、無線クイズなどをスタンプラリー形式で楽しみながら体験していただきました。一次救命処置の場面では、スタッフの笑顔と声掛けもあって、最初は少し緊張気味の子どもたちも、とても上手にできるようになりました。加えてハートラちゃんとの交流もあり、多くの皆さんに赤十字の取組みについて、より身近に感じていただくことができました。



今回、運営には支部の職員に加えて安全法奉仕団、無線奉仕団、学生赤十字奉仕団のメンバーも参加しており、相互の連携のきずなもより深まったと思います。今後、より多くの方に「赤十字」を知っていただき、「赤十字の人と人の環」が広がるよう尽力できればと思います。

赤十字旗および赤十字奉仕団旗をご寄贈いただきました。

来年2027年に日本赤十字社が創立150周年を迎えるにあたり、赤十字ボランティアの一ノ谷様、米森武夫様の両名より、赤十字旗、赤十字奉仕団旗および青年赤十字奉仕団旗をご寄贈いただきました。

寄贈者のお二人からは「今後の活動にぜひ役立ててほしい」とのお言葉をいただいております。大切に活用させていただきます。



発行日 2026.3.31
赤十字奉仕団石川県支部委員会

日赤石川県支部のホームページからも奉仕団だよりを閲覧することができます。



赤十字奉仕団



だより

SEKIJYUUJI HOUSHIDAN DAYORI

赤十字の
基本原則

人道・公平・中立・独立・
奉仕・単一・世界性

vol. 50

2026.3



子育て支援メッセ



海外たすけあい街頭募金(志賀町)



加賀地区チャリティーバザー



能登半島被災地視察研修



委員長・副委員長研修



加賀地区チャリティーバザーを開催して



小松市赤十字奉仕団 副委員長 久保 由味子

令和7年度の加賀地区赤十字奉仕団のチャリティーバザーは、小松市の「福祉ふれあいフェスティバル」と同時開催という形で10月26日(日)こまつドームにて行われました。搬入においては会場の利便性もありスムーズに進みました。集客面ではバザー目的のお客様以外にフェスティバルに参加された方にもお越しいただきました。赤十字奉仕団の活動に興味を持っていただき周知の機会になったと同時に売上にもつながり、一石二鳥の感がありました。一方、会場が広すぎたため場所が分かりづかった、市との同時開催で独自のチラシ作成が難しい面があった等、反省・改善点も浮かび上がりました。

最後に、形式・時期等前例のない開催となりましたが、奉仕団の皆様のご理解とご協力のおかげで無事終えることができ、感謝申し上げます。



海外たすけあい街頭募金を実施して



内灘町赤十字奉仕団 委員長 一枚田 美子

毎年、12月の第一土曜日に「NHK海外たすけあい募金」活動を行います。

いつも天候に恵まれず寒い日となりますが、今回は快晴となり、皆で「あったかいね。」と声をかけ合っていました。団員9名の参加です。

募金活動の始まりです。町内のスーパー3店舗、アルビス、マルエー、マックスバリュと順番に回ります。

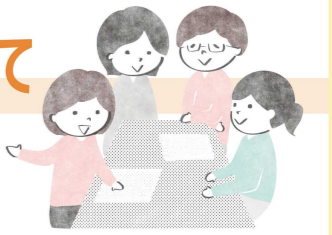
私たちは、「海外たすけあい募金をお願いします。」と、お客様に声かけします。その時、必ずといっていいほど「なぜ、海外なのか。」と聞かれます。そのつど「海外の方からもご支援いただいています。」と答えています。国が違っていても、お互い助け合う気持ちにかわりはありません。集めた募金はたくさんの方の善意であり、この募金が海外の方に役立てていただけること、とてもうれしく、

心よい気持ちで募金活動を終わりました。

私たちは、この小さな善意をこれからも愛のバトンとして、つないでいきます。



赤十字奉仕団委員長・副委員長研修に参加して



菊川赤十字奉仕団 副委員長 高松 百合子

県内各地域奉仕団の方々、無線や雪上救護など専門性の高い活動を担う特殊赤十字奉仕団の方々が集い、赤十字の人的活動について学ぶ研修会に参加させていただきました。

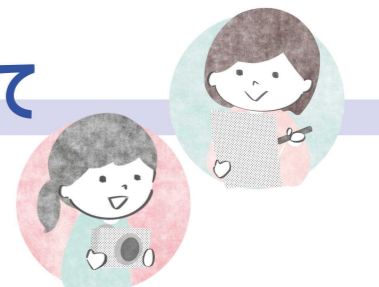
本研修会では、日本赤十字社の組織と事業について。また、能登半島地震・豪雨災害での活動や多岐にわたる支援が紹介されました。研修後半は、6、7人のグループに分かれての防災セミナー「ひなんじょたいけん」と「これから奉仕団ができる活動について考えるワークショップ」が行われました。発災後の混乱の中で個々の事情に寄り添う思考や行動が求められること、その難しさは疑似ゲームであっても実感できました。ワークショップでは、沢山のご意見や我が地域の展望などをお聞きすることができ多くの刺激と学びをいただきました。

地域奉仕団のお役にいただいているものとして、自分自身が赤

十字の意義や精神をよく理解し、今後の活動に活かしたいと思えます。



珠洲市、輪島市での視察研修を実施して



能登町赤十字奉仕団 委員長 的場 清一

令和7年11月7日、珠洲市と輪島市の被災地を巡る視察研修を実施し、奉仕団員13名が参加しました。珠洲市宝立町では、住宅の解体が進んで更地が広がっており、見附島もひどく崩れていて、記憶にあるものとは全く違って見えました。輪島市中心部では、焼失してしまった朝市通りや、豪雨災害による河川の護岸工事がいまだに続いているのを目の当たりにし、改めて災害の恐ろしさを実感しました。その一方で、平屋の新築住宅の建設が増えているのを見て、子どもたちの遊び場も新たに作られているのを見て、復興への希望も感じることができました。

団員の中には、仮設住宅に住んでいる人や、近所づきあいが減って自宅にこもりがちなの人もいます。今回の視察研修では、団員同士で交流しながらリフレッシュすることができ、また今後の奉仕活動を考えていく上でも大変良い機会だったと感じます。

